

勾配線区向けとして登場したディーゼルカー、キハ52形



◆実車ガイド

- キハ52形はキハ20系列でエンジンを2基搭載した強力形で、各地の勾配線区を中心に長く活躍していました
- キハ52-100形は縦型エンジンだった0番代から、横型エンジンに変更した車両で総数56両が登場、主に東北、信越、山陰、九州の山岳路線等を中心に使用されていました

◆製品化特徴

- ハイグレード(HG)仕様
- ヘッド・テールライトは電球色LEDによる点灯
- ヘッド・テールライトは常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付き
- 車番は選択式で転写シート付属
- モーター車(M)はフライホイール付動力採用
- トレーラー(T)は新集電システム採用
- 黒色車輪採用
- TNカプラー(SP)標準装備

<9441><9442>について

- 前期型の乗降ドアがプレスドアの姿を再現
- 外観の塗装は、朱色一色の首都圏色を再現
- ヘッドライトはシールドビーム2灯式に改造後の姿を再現

<9443><9444>について

- 後期型のトイレ窓が横長の姿を再現
- 後期型特徴の外はめテールライトを再現
- 外観の塗装はクリーム4号と朱色4号の国鉄気動車標準色で再現
- ヘッドライトは原形の1灯式で再現、付属パーツで2灯式も再現可能

■セット内容・編成例

●小海線(1978年頃) ●山田線(1972年頃)

キハ52(前期型)(T) 単<9442> キハ52(前期型)(M) 単<9441> キハ55(急行色)(T) 単<2466>

①キハ52(後期型)(M) 単<9443> ②キハ52(後期型)(T) 単<9444>

<別売りオプション>
室内灯: <0733>LC(白色)

●並べて楽しめるお薦め商品●

キハ58系
各種発売中

品番	9441	品名	国鉄ディーゼルカー キハ52 ₁₀₀ 形(首都圏色・前期型)(M)	予価	¥6,800(税抜)
発売月	2020年3月	JANコード	4543736094418		
品番	9442	品名	国鉄ディーゼルカー キハ52 ₁₀₀ 形(首都圏色・前期型)(T)	予価	¥4,300(税抜)
発売月	2020年3月	JANコード	4543736094425		
品番	9443	品名	国鉄ディーゼルカー キハ52 ₁₀₀ 形(後期型)(M)	予価	¥6,800(税抜)
発売月	2020年3月	JANコード	4543736094432		
品番	9444	品名	国鉄ディーゼルカー キハ52 ₁₀₀ 形(後期型)(T)	予価	¥4,300(税抜)
発売月	2020年3月	JANコード	4543736094449		

JR東日本商品化許諾申請中 JR西日本商品化許諾申請中 JR九州承認申請中

広島地区の黄色の115系にラインナップ追加!



◆実車ガイド

- 115系は113系ベースの勾配線区向け近郊電車として登場しました
- 300番代は冷房と側面窓のユニットサッシ化が図られたグループです
- 山陽本線広島地区で運用される115系は下関総合車両所に所属しさまざまな形態の115系が所属、黄色一色の姿が特徴でした
- 下関の115-300系は奇数車の先頭車がトイレが撤去されているほか、屋根上のベンチレーターが撤去されていますがそれ以外は比較的原形を保っていました

◆製品化特徴

- ハイグレード(HG)仕様
- トイレが撤去されたクハ奇数車を側面新規で再現
- クハ前頭部TNカプラーは横に配管モールドがあるタイプを採用
- クハのTNカプラー変更に伴いスカート新規および奇数車のジャンパホースを別パーツ化
- 屋根上ベンチレーターが撤去された姿で再現
- 窓のHゴムは黒色で再現
- ヘッド・テールライトは常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
- テールライトプリズムは実車に合わせ白っぽい色で再現、赤色で点灯
- 前面表示部は白色パーツを装着(無点灯)
- 車番は選択式で転写シート付属
- フライホイール付動力、新集電システム、銀色車輪採用
- 新モーター(M-13)採用・TNカプラー(SP)標準装備

■セット内容・編成例

●山陽本線(2015年頃)

←岡山・広島 下関→

クハ115(奇) モハ115 モハ114(M) クハ115(偶)

Set

<別売りオプション>
室内灯: <0733>LC(白色)

●並べて楽しめるお薦め商品●

115-2000系(西日本40N更新車)

好評発売中

品番	98368	品名	JR 115 ₃₀₀ 系近郊電車(下関総合車両所C編成・黄色)セット	セット両数	4両
発売月	2020年3月	JANコード	4543736983682	予価	¥16,700(税抜)

JR西日本商品化許諾申請中